



鹿児島市立星峯西小学校 学校だより
「花いっぱい 元気いっぱい」
 平成29年6月29日発行

「見つけてあげれば、子供は、頑張り屋になる」

校長 山下 繁樹

今、将棋の藤井聡太四段（中3）の連勝が話題になっています。27日には、デビュー以来29連勝で、これまでの記録を破りました。しばらくは負けないのではないかと思わせる戦いぶりです。世の親御さんたちは、どうしたらあのような子供に育つのか気になるころかと思えます。

ある本の一節を紹介します。「わたしたちは、毎日、子供を学校に送り出し、ご飯を食べさせ、身の回りの世話をしています。けれど、本当に子供のことを見つけ、分かっているかといえば、さて、どうでしょうか。もう一度、改めてあなたのお子さんを見つけてみてください。子供は日々成長し、一日として同じではありません。（中略）わたしたち親は、日頃から、子供の努力を認め、うまくゆかないときには励ましてあげなくてはなりません。そうしてこそ、子供は、夢に向かって頑張る子に成長できるのです。」（「子供が育つ魔法の言葉」ドロシー・ロー・ノルト PHP）とあります。

5歳から将棋を始めた藤井四段、小3のとき、全国小学生倉敷王将戦で優勝したことをきっかけにプロを目指します。それからは、お母様が、全面的にバックアップします。大嫌いな負けを一緒に悔しがり、次の勝ちにつなげる。大記録達成の陰には、聡太少年とともに喜び、そして泣いてきて、「私は、聡太の気が済むまで黙って見守るしかありません。」と見つけ、見守り続ける母親の姿がありました。「プロは厳しい世界。最年少だからといって、勝てる保証はありません。でも、本人が選んだ道だから、私は応援するだけ。聡太が勝つ姿が見たいです」とも話されています。

教育家ドロシー・ロー・ノルトは、「見つけてあげれば、子供は、頑張り屋になる」と言っています。星峯西小学校は、これからも、一人一人の子供と向き合い、そして寄り添っていくように努めてまいります。各御家庭でも、改めてわが子を見つけていただき、成長する様子を、日々感じてもらえたらと思います。

1学期も、残すところ1か月を切りました。残りも、子供たちが元気に登校し、笑顔があふれるように、御協力をお願いいたします。

5年生の集団宿泊学習（6月13日～15日）

家を離れ、学校を離れて、県立青少年研修センターで、2泊3日の集団宿泊学習を行いました。センターと引率の先生方の助けを借りながら、グループの友だちと協力しての活動です。薪を燃やす（ご飯炊き・カレー作り）、テントを設置する・片付ける、寝袋で寝る。

その他にも、ナイトウォークや灯火の集い、星峯東小学校の5年生と合同で室内運動会をする……等々、日頃できない体験をすることができました。

歯科衛生指導（6月2日）

食週間や食育との関連を意識しながら、2年生と5年生で歯科衛生指導を行いました。藤井歯科医院から2名の歯科衛生士の方をお招きして、子供たちに正しい生活習慣やバランスのよい食事が丈夫な歯を作ること、正しい歯のブラッシングの仕方などを教えていただきました。



プール開き、水泳学習スタート

今年も、2日にプール開きを行いました。全校を代表して、6年生が最初に水泳の学習を行い、今年度の水泳学習が始まりました。プールでは連日、子どもたちの歓声が響いているところです。「たっぷり栄養、しっかり睡眠」をとらせてください。



雨の季節の注意を！

この時季は、大雨や増水などが想定されます。川や側溝などに十分気をつけましょう。

7月の行事予定

月 日	曜	行 事
7 / 2	日	校区あいごスポーツ大会
4	火	児童代表・保健委員会（6校時）
5	水	水泳学習発表会・学級PTA （高学年・特別支援学級）
6	木	水泳学習発表会・学級PTA （中学年・特別支援学級）
7	金	水泳学習発表会・学級PTA （低学年・特別支援学級）
8	土	土曜授業
11	火	恵宝神社六月燈
12	水	PTA評議員会
17	月	（祝）海の日
20	木	終業式（給食あり）
22	土	夏の集い（6年PTA）
27	木	市小学校水泳記録会（6年生大会）
28	金	市小学校水泳記録会（5年生大会）
29	土	谷山北ブロック子供スポーツ大会

教育実習

6月4日（日）～16日（金）

本校の卒業生である鹿児島国際大学の松元友太さんが4年4組の学級を中心に教育実習を行いました。松元さんには将来に向けた貴重な経験になったとともに、本校の子供たちにとっても、夢を追いかける先輩の姿に触れるいい機会になりました。



松元さんには、ぜひこれからも自分の夢を切り拓くようにがんばってほしいです。

音読放送・読書週間

子供が読書に関心をもち本に親しむことができるように、音読放送や読書週間を行いました。校内放送で音読を発表したり読み聞かせや読書活動を進めたりしながら、子供たちはおおいに興味を高めましたようです。

